東山荘だより

（題字は元同盟委員長　故 北村徳太郎 氏）

2013年

ふゆ

『有明の月を頂く富士山』　写真：白鳥　裕之

－さるのつぶやき へ

発行人：大和田 浩二　発行所：YMCA東山荘　〒412-0001 静岡県御殿場市東山1052　電話 0550(83)1111　ファックス 0550(83)1138
tozanso@ymcajapan.org　Letter from Tozanso　www.ymcajapan.org/tozanso

夕陽の風 9

東山荘所長
大和田　浩二

冬の黙想館やラウンドトップ・夕陽の丘から望む富士山は、凍るような空気を何重にも身にまとうようにりりしく、冴え冴えとしてそびえ立っています。満月に近い夜は、昼間とはまた違った幻想的な姿を、しかしくっきりと一晩中東山荘に向けてくれています。

このような東山荘の、隠れた人気スポットが、1号館（齋藤記念館）2階のディーンリーバーメモリアルライブラリー（第3会議室）です。ドアを開けると、古い洋館の書斎のような重厚なおもむきと匂いが体を包み、天井まで収納されている書棚に並ぶ本の数々は、日本のYMCAや東山荘の100年の歴史を様々な語り口で聴かせてくれるのです。日本の学生YMCA再興に命をささげたともいえるディーン・リーバー氏についてのコーナーや、一昨年に亡くなられた元日本YMCA同盟総主事塩月健太郎氏の蔵書など、様々な先達の所蔵のものもここには並び、その意味でもYMCAの歴史を綴る図書室であると言って良いかも知れません。

この中にいると、YMCAの歴史の重さの心地よさを実感できるのですが、ひとたび外に出て、老朽化の進む建物や、全てが完璧に手が行き届いているとは必ずしもいえない荘内の森のたたずまいを見ると、現場を担当する者たちは、たちまち現実の厳しい姿に引き戻されます。

本館を中心とする東山荘の建物の改築が現実の話として進みつつある今、東山荘はその歴史を引き継ぎながらも、いかに新しいこれからの時代にふさわしい場としてその姿を創り上げてゆくのか、まさに今を生き、これからの世界を創り出すべき一人一人が知恵を出し合ってそのことに当たって行動することが求められています。

東山荘を気にかけてくださるお一人お一人のお気持ちが、ここに届けられることを切に願いつつ。

さるのつぶやき　さるリーダーのつれづれ話

私は毎日就寝前と起床後、どんな天気でもとりあえず外に出てみる習慣があります。私の住まいは富士山麓標高800mにあり、冬は氷点下10度程にも下がりますが、そんなよく冷え込んだ日ほど、星空や黎明の空はより美しく、富士山はより荘厳に見えます。その澄み切った美しさには、思わず幸せのため息が出ます。

そして時には富士山に月が沈む場面に遭遇することもあります。

写真は1月29日、夜明け前の一枚です。富士山頂の真ん中直上に月齢17．7の丸々とした月が輝いていました。それは豊臣秀吉の陣羽織の背面にある図柄そっくりの、まるで富士山に魂が宿ったかのような光景でした。それから約20分間、氷点下8度であることも、自分が薄着であることも忘れて、月が山頂に完全に没するまで見届けました。その後我に返ると手足はもちろん頬や顔も凍えて感覚がなくなるほどでしたが、体の芯はとてもあたたかな気持ちで満たされていました。

表紙写真と「つぶやき」
プログラム主任　白鳥　裕之

春の主催プログラム　ごあんない

●東日本大震災 復興支援オープンハウス●

日　時　3月10日（日）11時～15時
内　容　復興バザー
（東北の物産販売も予定）
軽食コーナー
（東山荘カレー、豚汁など）
ブース展示＆ミニ講演会
①YMCA東山荘の取り組み
②福島からの避難者からの発信
③掲がれ！希望のたこ2013
（紙づくり＆凧あげ）
などを予定しています。
是非皆さん、お越し下さい。
（担当　佐久間）

●東山荘ファミリーキャンプ●

日　時　3月23日（土），24日（日）　1泊2日
対　象　親子、祖父祖母も可
参加費　大　人　9，000円
小学生　8，000円
3歳～幼児6，000円
内　容　焚き火遊び、簡単アウトドアクッキング、キャンプソング＆ゲーム、自然遊びなどなど。
ファミリーでのんびり自然の中で遊びたいと思います。
ご家族揃ってのご参加をお待ちしています。
（担当　佐久間）

●こどもチャリンコキャンプ 富士山麓洞窟めぐりの旅●

日　程　4月27（土）～29日（月）　2泊3日
対　象　小学1年～6年生の男女
※中高生ジュニアリーダー若干名も同時募集します
参加費　21，000円
内　容　服が濡れるほど汗をかいたことがありますか？大人が考える「限界点」を、こどもは軽々飛び越えます。目一杯を経験すると、自分の体と心を信じられるようになる気がします。
安全に走れるよう、リーダー達がサポートします。
黄金週間はチャリンコで！
（担当　白鳥）

●春のまんまる満月キャンプ●

日　程　5月25日（土）～26日（日）　1泊2日
対　象　どなたでもどうぞ
参加費　こども7，000円
（3歳以上小学生まで）
おとな9，000円
（中学生以上）
内　容　5月25日は満月！そして土曜日!!春の満月を卯ぎながら、火の回りで歌い踊り、食べ、寝袋にもぐってそのまま就寝!!空の色の移ろいや夜の匂いを、共に楽しもうではありませんか！翌日は春の富士山の森でたっぷり遊びましょう。
（担当　白鳥）

from the Secret Garden

大勢のこども達と一緒に庭を探検していたある日のこと、道路脇でモグラとヒミズに出会いました。

命は尽きていましたが、まだ温かく、柔らかなビロードのような毛はつやつやしていました。

こども達は予期せぬ遭遇に興奮して、騒ぐことなく手を伸ばし彼らを撫でていました。

東山荘の庭は、地面の下にも心躍る世界があるようです。

編集後記

10カ国の留学生たちと一緒にひと時を過ごす機会がありました。

雪の富士山を舞台に特製ソリ「さるボード」で滑ったり、雪だるまを作ったりもしました。心動く体験を分かち合う時間はとても平和で温かいものでした。

東山荘が世界中の若者の交流の場であることを実感しました。

お申し込み・お問い合わせ

資料のご請求は…

日本YMCA同盟　東　山　荘
〒412-0024　静岡県御殿場市東山1052
TEL　0550－83－1133
FAX　0550－83－1138
E－mail：tozanso@ymcajapan.org
HP　http://www.ymcajapan.org/tozanso/

期間限定キャンペーン

2013年3月31日まで！

グループ・仲間・ご家族でご利用いただけます

・ウィンター学生プラン（1泊2食付10名様～）
・ウィンター・ツインルームプラン
人気のロッジご宿泊、会議室割引のプラン、お食事のプラン等がございます。
料金等詳しくはお問合せください。

プログラム通信

広葉樹の葉が散り敷いて、枝ぶりも露わな季節にも、東山荘の庭にはたくさんの人達の歓声が響きます。

大きい人も小さい人も一緒に楽しんだ冬のプログラムの模様をご報告します。

こどもクリスマスデイキャンプ　12月23日

『今年はやらないの？』という声に励まされ急遽開催したデイキャンプには、こども・大人合わせて65名にご参加いただきました。

「こびと特捜隊」や「さるヌンチャク道場」など、クリスマスには全く関係ない遊びは、傍から見れば意味のないことかもしれませんが、やってみないと分からない面白さ、楽しさに溢れていました。

夢中で遊ぶおとなの姿は、こども達にとっても嬉しい発見だったのではないでしょうか。

第47回年末年始家族パーティー　12月30日～1月4日

最大240人、延900人が「大きなおうち」東山荘に集いました。

盛りだくさんのウエルネス、クラフト、ネイチャープログラムで、大人もこどもも一緒に、笑顔を交わし共に楽しく和やかに過しました。

温かい交わりの日々を胸にまた1年頑張りましょう！そしてまた暮れにお会いしましょう。楽しそうと思ったあなたのご参加もお待ちしています！紙上写真展で雰囲気をお楽しみ下さい。

（写真撮影／小曽戸恒夫）

東山荘と私

～将来に期待すること～

森林の再生について

2015年の創立百周年に向けて、東山荘は言わば第3期改造の只中にあります。

1915年（大正4年）に学生YMCA夏期学校の宿泊施設として興された東山荘の、木造旧本館時代（第1期）、1965年（昭和40年）の現本館新築に端を発する現代（第2期）に、学生として、またスタッフとして関わってこられた本行孝司さんにお話しを伺いました。

昭和25年、初めて東山荘に来た時はラウンドトップ（現在1号館・夕陽の丘のある一帯）は松が疎らに生える草原だった。富士山を背にヴォーリズさんが語ってくれたその場所に、将来役に立つようにと杉の苗木を植える人がいた。植林は当時の日本YMCA同盟の方針であったが、50年経ってみると四季折々に野の花の咲いた丘は陽の射さない暗い森に変わってしまった。

東山荘勤務時代は、山野草にお詳しい秩父宮妃殿下が隣接のご別邸に滞在される折の荘内ご散策が定例化していたこともあり、当時の職員はそれを気にして庭園管理をしていた。

様相の変化に伴って絶えてしまった植物もありとても残念だと思っている。

元々東山荘に自生していた植生を取り戻し、大切に伝えていきたいと願っている。

東アジアYMCAのリーダー養成と真の交流の拠点として

1984年に「東北アジアにおける平和と正義」と題して行われたWCCの「東山荘会議」は、緊張の只中にあった日本、韓国、北朝鮮のキリスト教指導者たちが、国の思惑を超えて想いを語り合う時を持てた画期的なものであった。

2009年から日本YMCA同盟により開催されている「地球市民プロジェクト」では、東アジアと日本からの青年達が学びつつ熱い議論を交わしている。顔をつき合わしての議論や交流から、違いを超えた友情が育まれる、東山荘はこのような場であり続けてほしい。

本館建て替えについて

安全、安心であることはもちろん、人と車の動線を区別したり、年代に応じてそれぞれの活動が機能的にできるような配置も考えたい。

現本館への移行期、能率的で合理的であることに考え方が偏ったが、それらが最優先されると「東山荘の良さ」が薄まってしまうのではないだろうか。

かつて木造時代には、集った者が全員一緒に食事をした。講師の人格に触れたり食事を共にする者同士の交流の機会でもあり、作る人と食べる人との気持ちの通い合いもあった。そこには人と人との出会いの精神があった。

この度の第3期に向けては、全く新しいものを作るのではなく、むしろ大正時代の一番最初にやろうとしたことのいくつかを再現・復活させたい。

今ある通年使える施設であることは同じように続け、昔に戻すのではなくスピリットを復活させたい。

それには、ランドスケープデザイナーに最初の段階から関わってもらい、東山荘の歴史、活動、精神を踏まえて総合的に提案をしてもらうと良いと思う。

過去、多くの人が語り書いてきた通り、東山荘は単なる研修施設ではない。人と出会い、自然と出会い、究極的には神さまと出会う「出会うところ」としてのスピリットを継承してほしい。

（在文責記者）

本行孝司（ほんぎょう・たかし）さん
元東山荘所長、昭和25年夏期学校の参加者として東山荘に初滞在。その後日本YMCA同盟入職、北海道YMCA総主事、東山荘所長を歴任。
職員としては副所長、所長として通算10年間東山荘に在籍。

季節の一品　～厨房だより～

塩麹の焼きうどん

●材料（2人分）

冷凍うどん	2玉
豚バラ薄切り	100ｇ
キャベツ	150ｇ
玉葱	100ｇ
人参	60ｇ
塩麹	大匙2杯
サラダ油	ごま油　適量
削り節	適量
浅葱	適量

●作り方

①うどんはさっとお湯を通して水で冷まし水を切る。
②豚バラ肉は3ｃｍ幅に切り、野菜は焼きそばの様に食べやすい大きさに切る。
③フライパンにサラダ油と胡麻油を入れて熱し豚バラを炒める。色が変わったら人参・玉葱・キャベツを時間差で加えて炒める。
④③にうどんをほぐしながら加え塩麹を入れて炒め合わせる。
⑤更に盛り、浅葱と削り節を振りかける。

野菜は好みで何でもOK。
多めが美味しいです！！

「東山荘だより」題字について

「東山荘だより」は創刊から43年を数えています。

当時の高倉所長から揮毫（きごう）を依頼された北村先生は、「何かのために役に立つものならば」と、その後創刊予定であった「東山荘だより」の題字を書いて下さったそうです。

木造の旧館時代から『日本のエデンの園たらしめたい』と東山荘改造に情熱が注がれた熱い時代に、思いを込めて書かれた題字です。

先人の思いを受け継ぎ、東山荘スピリットを守り育て次の世代に渡せるよう、これからもこの「東山荘だより」題字を大切にしていきたいと考えています。

北村徳太郎氏(1886～1968)
運輸・大蔵大臣を歴任、1955年日本YMCA同盟維持財団理事長、1961～1965年日本YMCA同盟委員長
1968年10月20日、突然の東山荘訪問の際にご揮毫いただく。
公的なものでは氏の絶筆ではないかと言われている。
特に晩年は東山荘改造の中心となって奉仕された。東山荘正門の石碑の題字も北村先生の書である。
（東山荘だより　1970年創刊号より）